

「想うベンチ ーいのちの循環ー」プロジェクト、6月より本格始動！

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（大阪市北区、荒木直也社長、以下H20）は、大阪府との包括連携協定に基づいて進める「大阪 森の循環促進プロジェクト」の一環として、6月より「想うベンチ ーいのちの循環ー」の取り組みを本格化します。

この取り組みは2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge」にも採択されており、大阪府内の多様な事業者や地域住民と共創し、ベンチ製作や体験プログラム、メディア運営などを実施することで、林業のサプライチェーン全体を巻き込み、長期的な視野で需要や関係人口の創出を目指します。

※プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください。 <https://omoubench.jp/project/>

■ 「想うベンチ ーいのちの循環ー」 概要

① ベンチ製作



一等材から現状ではパルプにされる木材まで、さまざまな木材の活用を提案できるようなベンチの製作を進めます。ベンチのデザインは、趣旨にご賛同いただいた [服部滋樹氏](#)、[佐野文彦氏](#)、[辰野しずか氏](#)、[松井貴氏](#) の4名と協働します。万博会場には30台のベンチを提供し、終了後は地域にベンチを戻して新たなつながりを生む交流の場として使い続けます。

② 体験プログラム



8月からは大阪府内のH20グループ店舗でワークショップを行うほか、府内の森で体験イベントを開催します。大人から子どもまで、さまざまな年代の方々に対し、木や自然に触れながら大阪の森に思いをはせる機会を提供します。

③ WEBメディア運営



公募で選定した大阪府民（在勤・在学の方含む）のライターと、WEBメディア「想うベンチ ーいのちの循環ー」を運営。6月から公募を開始し、7月以降、実際に企画や運営、取材や執筆などの活動を行う予定です。公募内容の詳細は下記をご参照ください。

URL : <https://omoubench.jp/joinus/>

<報道関係お問い合わせ先>

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL06-6367-3181

【参考資料】

「大阪 森の循環促進プロジェクト」について

H2O グループにおけるサステナビリティ経営の取り組みのなかには、重点テーマの1つ「豊かな『地域の自然』を守り、引き継ぐ」があります。「大阪 森の循環促進プロジェクト」は、その一環として、大阪府との包括連携協定に基づいて進められています。林業の現場から売り場まで、サプライチェーン全体を巻き込み、需要や関係人口の創出を含めた、長期的な視野でのプロジェクトを目指しています。2022年には、H2O と阪急阪神百貨店の新オフィスへの移転に際し、社員が自由に集いコミュニケーションをとれるコラボレーションエリアに設置する机を大阪・泉州の森の間伐材を用いて製作。それに合わせて、社員向けの体験学習を行い、「森の循環」の中で小売業として何ができるか、学びと実践を通して考え続けています。

詳細については、下記 URL からご覧ください。

<https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/sustainability/theme-03/forest.html>



森での体験学習の様子



オフィスに設置する机を製作する様子

運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge」について

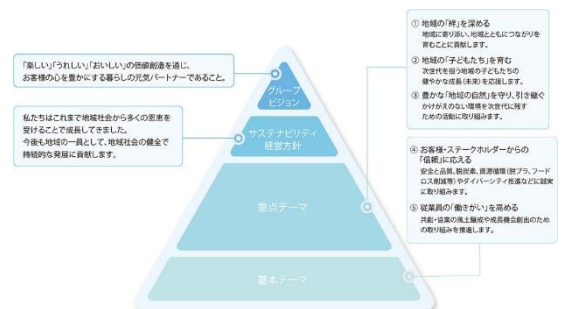
2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の運営参加特別プログラム。すでに販売されている物品・サービスの提供ではなく、これから開発を行うものを貸与・提供する点が特徴です。公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会が 2022 年 7 月 26 日から 9 月 16 日まで、「①万博を機会として、新しい『何か』をつくること」「②共創の取り組みであること」「③デザイン視点で取り組むこと」「④大資本でなくても取り組めること」を特徴とした事業への提案募集を行い、応募のあった計 79 件の提案から 12 件を選定しました。

<https://www.expo2025.or.jp/co-creation-index/co-design-challenge/>



エイチ・ツー・オー リテイリンググループの「サステナビリティ経営方針」について

H2O グループは、「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくてはならない存在であり続けること」を経営理念としており、地域のみなさまとのつながりは、グループにとって大切な財産です。私たちはこれまで地域社会から多くの恩恵を受けることで成長してきました。今後も地域の一員として、地域社会の健全で持続的な発展に貢献します。2021 年より「地域社会への貢献」を柱にした 3 つの重点テーマと 2 つの基本テーマをグループの「重要課題（マテリアリティ）」と位置づけ取り組みを推進しています。詳細については、「統合レポート 2023」をご覧ください。



https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/ir/library/report/main/011/teaserItems2/00/linkList/0/link/231101_all_web.pdf